

日本曹達グループの価値創造

2021年度 日本曹達グループ CSR活動方針と目標 (1/3)

領域	マテリアリティ	SDGsとの関連	10年後にありたい姿	KPI	
企業価値を高めるCSR	アグリカルチャー	 目標2: 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。	農業問題・食料問題に取り組み、ビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)セミナー開催状況 (2)取り組み状況	
	ヘルスケア	 目標3: すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	健康問題に取り組み、ビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)貢献状況 (2)セミナー開催状況	
	環境	健全な資源循環の実現へ ・水資源供給の安定化 ・廃棄物による環境負荷の低減	 目標6: 安全な水とトイレを世界中に すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。   目標11: 住み続けられるまちづくりを 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する。   目標12: つくる責任、つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。	地球環境問題に取り組み、ビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)貢献した水の量 (2)取り組み状況
		持続可能な植物保護へ ・貴重な松などを害虫から守る	 目標15: 陸の豊かさも守ろう 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する。	(1)取り組み状況	
	ICT*	化学薬材の機能性を情報電子機器へ ・人や環境にやさしい高機能材料の提供	 目標9: 産業と技術革新の基礎を作ろう 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの推進を図る。	情報・電子分野の発展を材料から支え、ビジネスとして成功している化学企業グループ。	(1)貢献した出荷金額
次世代を見据えた取り組み	低炭素社会の実現へ ・低炭素製品の供給貢献 ・水素社会の実現に向けた取り組み  日本曹達グループだけでは実現できない目標をパートナーシップで実現する ・企業・団体と目標への理念共有と協働  次世代を担える人材育成 ・安全を未来に継承できる教育システム  次世代への研究開発 ・人間社会、地球環境が継続的に発展でき、ビジネスにつながる研究開発	 目標13: 気候変動に具体的な対策を 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる。  (1) アグリカルチャー 微生物農業、微生物産生物農業  (2) ヘルスケア 植物原料による医薬品添加物  (3) 環境 生分解性プラスチックの開発 水素製造・貯蔵関連技術の研究  (4) ICT 二次電池材料 環境負荷低減型材料の開発   目標17: パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。	低炭素製品の提供で低炭素社会に貢献し、ビジネスとして成功している化学企業グループ。  複数の企業や団体と価値観を共有して目標を実現し、ビジネスとして成功している企業グループ。  CSRの理念を持ち、ビジネスとして成功できる人材が育っている化学企業グループ。  製品を通じ社会貢献ができ、かつ、ビジネスとして成功できる企業グループ。	(1)低炭素製品数推移 取り組み状況 貢献状況 開発状況  (1)取り組み状況  (1)育成状況  (1)研究開発状況	

\*ICT(Information and Communication Technology): 情報通信技術。